

平成 22 年 12 月 20 日



せりがや通信第27号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

せりがや病院では、10月から新しい院長を迎えました。ご紹介させていただきます。



院 長 川 副 泰 成

みなさん、こんにちは。10月1日に前院長の奥平謙一先生の後任として着任しました、川副(かわぞえ)です。すでに2ヵ月ほど過ぎ、担当している患者さんには1度はお会いしたのではないかと思います。でも、せりがや病院を支えてこられた奥平先生が担当された方々は非常に多く、まだまだお顔を覚えきれていないのではないかと心配しています。行き届かない点がありましたら、どうかご遠慮なくご指摘下さい。

さて、私自身はこの9月まで、旭中央病院という総合病院の精神科に28年間勤めていました。同じ名前の病院が横浜市旭区にあるようですが、私がいた病院は千葉県旭市という、人口約7万人で鉄道はJRの単線しかない片田舎にありました。今回は横浜市という大都市に異動したわけですが、せりがや病院に来てみると木々に囲まれ、特に2階の部屋から見ると一面の緑で、自然の中にあるのに驚きました。前の病院は巨大な総合病院でしたが、せりがや病院は小規模の専門病院でまとまりがあり、みなさんにあたたかく迎えていただき、まずは順調に仕事を始めることができ感謝しています。

さて、せりがや病院はお隣の芹香病院とともに神奈川県立精神医療センターの2つの病院ですが、2010(平成22)年4月にほかの県立病院とともに地方独立行政法人の病院になっています。くわしくは「神奈川県立病院機構」のウェブサイト(ホームページ)をご覧くださいなのですが、たとえば大崎逸朗理事長のあいさつの中には「最近のめまぐるしく変化する医療環境に機敏に、柔軟に対応し、経営の安定を図りながら、それぞれの病院の持つ特性に応じた医療機能を維持・充実し、県立病院の役割を発揮し続けていくために、この法人を設置した」(*)とあります。大事なものは、多くの県民のみなさん、患者さんから見て役に立ち、逆に大きな負担にならないように運営することだと思っています。

そのような中でせりがや病院で仕事を始め、前の病院での経験を振り返ってみると、やはり依存症の医療を専門的に行なう医療機関は重要だと痛感します。一方、長い人生を考えると遠方まで長期間通うことは大変ですから、容態が落ち着いている時期は身近な医療機関に担当してもらうことも必要になってくると思います。また、依存症に特有の内科、外科などの疾患があることも思い知らされ、私も勉強が必要ですが、せりがや病院では治療がむずかしい他科の病気はご紹介することになるでしょう。自助活動の重要性についてはもちろん、この『通信』で改めて新米の私が言うまでもないことです。患者さん、ご家族はもちろん、病院の中と外の関係者のお話を伺い、つながりを深めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

親睦祭に参加して

せりがや病院 看護師 山口二三子

9月に親睦祭が行われ、今回初めて参加しました。

豚汁作りでは、男性患者さん達が見慣れないエプロン姿で、一生懸命に調理されていたことが、とても新鮮でした。

3つのグループに分かれて豚汁を調理されましたが、それぞれ隠し味や調理方法に工夫をされていて、3グループとも味や食感が少しずつ違い、個性が出ていました。

どの豚汁も甲乙つけ難く、とても美味しかったので、私はそれぞれ2杯ずつ頂いてしまいました！

当日は、あいにくの雨模様でしたが、皆さんが一生懸命に作って下さった美味しい豚汁で、体も心も温かくなり、晴れやかな気持ちになりました。

午後からはカラオケ大会がおこなわれましたが、王道の演歌からリリリのJポップまでと幅広い曲目で、私たち看護師も皆さんの美声に酔いしれ、応援にも熱が入り盛り上がり過ぎてしまいました♪

出場者が歌っている時には、応援している方々も一緒に口ずさんだりされていて、歌というのは、心を1つにするな～と感じました。

今回、親睦祭に参加して、普段入院生活では見る事の出来ない皆さんの一面を拝見する事ができ、また一緒に楽しむことができ本当に良かったです。

次回の親睦祭が今から待ち遠しいです♪♪♪

＜アルコール家族教室のご案内＞			＜薬物依存症の家族教室のご案内＞		
＜特別講座予定＞			＜特別講座予定＞		
			IV：精神医療センター 医師		
開催日程と担当			開催日程とテーマ		
1月 6日 (木)	B	ソーシャルワーカー	1月 13日 (木)	3	家族の変化・本人の変化
1月 20日 (木)	C	医師	1月 27日 (木)	4	家族の回復
2月 3日 (木)	B	ソーシャルワーカー	2月 10日 (木)	特IV	特別講座
2月 17日 (木)	A	看護師	2月 24日 (木)	1	薬物依存症とは
3月 3日 (木)	B	ソーシャルワーカー	3月 10日 (木)	2	家族ができること
3月 17日 (木)	C	医師	3月 24日 (木)	3	家族の変化・本人の変化
アルコール家族教室は、アルコール依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。A・B・C それぞれの立場から上記日程で開催いたします。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます) 参加方法 予約なし・無料です。 開催時間 第1・3木曜日午後1時30分～3時30分 (但し、祭日はお休み) 場 所 せりがや病院2階デイ・ケア室			薬物依存症家族教室では、シンナー、覚せい剤、麻薬、大麻、処方薬などの薬物依存(中毒)についての知識や薬物依存症の特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。どの回からでも参加できますが、4回通してご参加いただくことをお勧めしています。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます) 参加方法 予約なし・無料です。 開催時間 第2、第4木曜日午後1時30分～3時 (但し、祭日はお休み) 場 所 せりがや病院 2階デイ・ケア室		



外 来 診 療 (新 患 ・ 再 来) は 予 約 制 です。

◎予約変更は平日の午後2時～4時にご連絡ください TEL:045(822)0365

電話番号の掛け間違いが大変多くなっています。よくお確かめの上、おかけ下さい。

〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1

<http://kanagawa-pho.jp/osirase/byoin/seisin/index.htm/>

発行所 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員